様式第１

 　 （表　面）

 石川県知事　　　　　殿

|  |
| --- |
| 社会福祉法人設立認可申請書 |
| 設立代表者 | 住　所 |  |
|  |   |
| 申　請　年　月　日 |  |
| 社会福祉法人設立の趣意 |  |
| 主たる事務所の所在地 |  |
| 法 人 の  |  |
| 事業の種類 | 社会福祉事　　業 | 第１種 |  |
| 第２種 |  |
| 公　益　事　業 |  |
| 収　益　事　業 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事務担当者及び連絡先 |  |  （職名： ） |
| 住 所 | 〒 |
| 電 話 |  |
| ＦＡＸ |  |

（裏　面）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資産 |  純資産 ⑤－⑥ | 　　　　　　内　　　　　　　　　　　　　　　　　　訳 |
| 社会福祉事業用財産 | ③公益事業用財産 | ④収益事業用財産 | ⑤財産計①＋②＋③＋④ | ⑥負　債 |
| ①基本財産 | ②その他財産 |
|  円 |  円 |  円 |  円 |  円 |  円 |  円 |
| 役員等となるべき者 | 理事監事評議員の別 | 氏　名 | 親族等の特殊関係人の有無及び続柄 | 役員の資格等(該当に○印) | 他の社会福祉法人の理事長への就任状況 |
| 事業経営識見 | 地域福祉関係 | 管理者 | 事業識見 | 財務管理識見 |
| 有無 | 法人名 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※理事のうち、理事長予定者については、○を付けること。

　（注意）

　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　２　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

　３　この申請書には、社会福祉法施行規則第２条第２項及び第３項に掲げる書類を添付すること。

 ４　特殊関係人の続柄は具体的に記載すること。

様式第２(Ａ４)

添　付　書　類　目　録

※添付した書類の確認欄に○印を付けること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 名　　称 | 確認欄 |
| 1 | 定款 |  |
| 2 | 添付書類目録 |  |
| 3 | 設立当初の財産目録 |  |
| (1) | 財産目録 |  |
| (2) | 土地の評価額を証明する書類 |  |
| (3) | 不動産目録 |  |
| 4 | 【贈与の場合】設立当初の財産が法人に帰属することを証する書類 |
| (1) | 贈与契約書 |  |
| (2) | 補助金交付決定通知（または確約書等) |  |
| (3) | 個人からの贈与 | 贈与者の身分証明書 |  |
| 贈与者の残高証明書 |  |
| 贈与者の所得証明書 |  |
| (4) | 法人等からの贈与 | 法人代表者の身分証明書 |  |
| 法人等の規則、定款等 |  |
| 法人等の登記事項証明書 |  |
| 法人等からの贈与を議決した議事録 |  |
| 法人等の直近2期分の決算書 |  |
| (5) | 土地・建物の所有権移転登記確約書 |  |
| (6) | 不動産登記事項証明書 |  |
| (7) | 有価証券登録証明書 |  |
| (8) | 土地の公図 |  |
| (9) | 建物の図面 |  |
| (10) | 抵当権等の解除承諾書 |  |
| (11) | 抵当権等の解除に要する資産を証する書類 |  |
| (12) | 農地転用許可書・届出受理書 |  |
| (13) | 土地・建物の不動産価格評価書等 |  |
| 5 | 【借用の場合】法人に帰属しない不動産の使用権限を証する書類 |
| (1) | 土地・建物の無償貸与契約書（または確約書） |  |
| (2) | 地上権設定契約書又は地上権設定登記誓約書 |  |
| (3) | 土地・建物賃貸借契約書または賃貸借権登記誓約書 |  |
| (4) | 契約の相手方の身分証明書 |  |
| (5) | 不動産登記事項証明書 |  |
| (6) | 土地の公図 |  |
| (7) | 建物の図面 |  |
| 6 | 事業計画関係 |  |
| (1) | 設立当初の会計年度から2年度分の事業計画書 |  |
| (2) | 設立当初の会計年度から5年度分の資金収支予算内訳書 |  |
| (3) | 収入、支出の算定根拠を示した書類 |  |
| (4) | 資金繰り表 |  |
| 7 | 設立代表者関係 |  |
| (1) | 設立代表者の履歴書 |  |
| (2) | 設立代表者の権限を証する書類(委任状、承諾書) |  |
| (3) | 設立代表者の代理人の権限を証する書類(委任状、承諾書) |  |
| 8 | 役員(理事、監事)・評議員関係 |  |
| (1) | 役員(理事、監事)及び評議員名簿 |  |
| (2) | 役員及び評議員就任予定者の就任承諾書 |  |
| (3) | 役員及び評議員就任予定者の履歴書 |  |
| (4) | 欠格事項、親族等特殊関係者及び暴力団員等に該当しないことの誓約書 |  |
| 9 | 評議員選任・解任委員会関係 |  |
| (1) | 　評議員選任・解任委員就任予定者名簿 |  |
| (2) | 　評議員選任・解任委員就任予定者の就任承諾書 |  |
| (3) | 　評議員選任・解任委員就任予定者の履歴書 |  |
| 10 | 施設建設関係 |  |
| (1) | 　施設建設計画書 |  |
| (2) | 　建物の図面 |  |
| (3) | 　建物建設費見積書 |  |
| (4) | 　設備(備品)整備費見積書 |  |
| (5) | 　設備整備（初度調弁）計画書 |  |
| (6) | 　補助金の内示(または交付決定通知） |  |
| (7) | 　補助金の積算書、補助金交付要綱 |  |
| (8) | 　貸付決定通知書(または内定通知書、借入申込書) |  |
| (9) | 　借入申込書 |  |
| (10) | 　借入金償還計画 |  |
| (11) | 　償還金贈与契約書（または確約書等) |  |
| (12) | 【償還金贈与者が個人の場合】　５(3) の書類 |  |
| (13) | 【償還金贈与者が法人の場合】　５(4) の書類 |  |
| (14) | 　基本財産編入誓約書 |  |
| (15) | 　同意書等 |  |
| (16) | 　関係法令届出書等 |  |
| 11 | 施設長関係 |  |
| (1) | 　施設長就任承諾書 |  |
| (2) | 　施設長予定者の履歴書 |  |
| (3) | 　施設長の資格を証する書類 |  |
| (4) | 　住居移転誓約書 |  |
| 12 | 施設運営関係 |  |
| (1) | 　管理規程(または運営規程) |  |
| (2) | 　経理規程 |  |
| (3) | 　就業規則 |  |
| (4) | 　給与規程 |  |
| (5) | 　退職金規程 |  |
| (6) | 　旅費及び手当の支給に関する規程 |  |
| 13 | その他 |  |  |
| (1) | 　設立発起人会議議事録 |  |
| (2) | 近隣住民への説明の記録 |  |

様式例１（Ａ４）

|  |
| --- |
| 財　　　産　　　目　　　録 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 　　年　　月　　日現在 |
|  |  |  |  |  |  |  |  | （単位：円） |
| 貸借対照表科目  | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額  |
| Ⅰ　資産の部 |  |  |  |  |  |  |
| 　１　流動資産  |
|  |  | 現金預金 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  | 現金 | 現金手元有高 | － | 運転資金として | － | － | ××× |
|  |  |  | 普通預金 | ○○銀行○○支店他 | － | 運転資金として | － | － | ××× |
|  |  |  |  | 小計 | 0 |
|  |  | 事業未収金 |  | － | ○月分介護報酬等 | － | － | ××× |
|  |  | 　・・・ | ・・・ | － | ・・・ | － | － | ・・・ |
| 流動資産合計 | 0 |
| 　２　固定資産  |
| 　（１）　基本財産  |
|  |  | 土地 | （A拠点）○○市○○町1-1-1 | － | 第1種社会福祉事業である、○○施設等に使用している | － | － | ××× |
|  |  |  |  | （B拠点）○○市○○町2-2-2 | － | 第2種社会福祉事業である、▲▲施設等に使用している | － | － | ××× |
|  |  |  |  | 小計 | 0 |
|  |  | 建物 | （A拠点）○○市○○町1-1-1 | 19××年度 | 第1種社会福祉事業である、○○施設等に使用している | ××× | ××× | ××× |
|  |  |  |  | （B拠点）○○市○○町2-2-2 | 19××年度 | 第2種社会福祉事業である、▲▲施設等に使用している | ××× | ××× | ××× |
|  |  |  |  | 小計 | 0 |
|  |  | 定期預金 | ○○銀行○○支店他 | － | 寄附者により○○事業に使用することが指定されている | － | － | 0 |
|  |  | 投資有価証券 | 第○回利付国債他 | － | 特段の指定がない | － | － | 0 |
|  |  | 　・・・ | ・・・ | － | ・・・ | － | － | ・・・ |
| 基本財産合計 | 0 |
| 　（２）　その他の固定資産  |
|  |  | 土地 | （○拠点）○○市○○町3-3-3 | － | 5年前に開設する○○事業のための用地 | － | － | ××× |
|  |  |  |  | （本部拠点）○○市○○町4-4-4 | － | 本部として使用している。 | － | － | ××× |
|  |  |  |  | 小計 | 0 |
|  |  | 建物 | （C拠点）○○市○○町5-5-5 | 20××年度 | 第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所に使用している | ××× | ××× | ××× |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 車輌運搬具 | ○○他3台 | － | 利用者送迎用 | ××× | ××× | ××× |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ○○積立資産 | 定期預金　○○銀行○○支店他 | － | 将来における○○の目的のために積み立てている定期積立 | － | － | ××× |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 　・・・ | ・・・ | － | ・・・ | － | － | ・・・ |
| その他の固定資産合計 | 0 |
| 固定資産合計 | 0 |
| 資産合計 | 0 |
| Ⅱ　負債の部 |  |  |  |  |  |  |
| 　１　流動負債 |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 短期運営資金借入金 | ○○銀行○○支店他 | － |  | － | － | 0 |
|  |  | 事業未払金 | ○月分水道光熱費他 | － |  | － | － | 0 |
|  |  | 職員預り金 | ○月分源泉所得税他 | － |  | － | － | 0 |
|  |  | 　・・・ | ・・・ | － |  | － | － | ・・・ |
| 流動負債合計 | 0 |
| 　２　固定負債 |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 設備資金借入金 | 独立行政法人福祉医療機構他 | － |  | － | － | 0 |
|  |  | 長期運営資金借入金 | ○○銀行○○支店他 | － |  | － | － | 0 |
|  |  | ・・・ | ・・・ | － |  | － | － | ・・・ |
| 固定負債合計 | 0 |
| 負債合計 | 0 |
| 差引純資産 | 0 |

（記載上の留意事項）

・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。

・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。

・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。

・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。

・｢貸借対照表価額｣欄は、｢取得価額｣欄と｢減価償却累計額｣欄の差額と同額になることに留意する。

・建物についてのみ｢取得年度｣欄を記載すること。

・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ｢減価償却累計額｣欄を記載する。なお、原価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「原価償却累計額」欄に記載する。

・車両運搬具の○○には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。

・預金に関する口座番号は任意記載とする。

・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。

様式例２（Ａ４）

不　　動　　産　　目　　録

 （　　枚中　　枚目）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予定地概況 | 所在地 |  |
| 地　番 | 　　　 |  |  |  |  |  |  合 計 |
| 地　目 |  |  |  |  |  |  |  |
| 面　積 | 　　　㎡ | 　　　㎡ | 　　　㎡ | 　　　㎡ | 　　　㎡ | 　　　㎡ | 　　　㎡ |
| 現　況 |  |  |  |  |  |  |  |
| 造成の必要性 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 |  |
| 計画における用途 |  |  |  |  |  |  |  |
| 提出時点の所有者 |  |  |  |  |  |  |  |
| 所有者と設置主体との関係 |  |  |  |  |  |  |  |
| 予定地に係る抵当権の状況 | 抵当権設定の有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 |  |
| 有の場合設定額 | 　　千円 | 　　千円 | 　　千円 | 　　千円 | 　　千円 | 　　千円 | 　　千円 |
|  | 有の場合解除挙証資料 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 | 有無 |  |
| 設置主体の利用方法 | 所有・貸借の別 | 所有貸借 | 所有貸借 | 所有貸借 | 所有貸借 | 所有貸借 | 所有貸借 |  |
| 所有の場合の取得方法 | 寄付売買 | 寄付売買 | 寄付売買 | 寄付売買 | 寄付売買 | 寄付売買 |  |
| 貸借の場合 | 貸借期間 |  |  |  |  |  |  |  |
| 貸主名 |  |  |  |  |  |  |  |
| 貸主住所 |  |  |  |  |  |  |  |
| 貸主と設置主体の関係 |  |  |  |  |  |  |  |
| 設定する権利 | 賃借権 | 賃借権 | 賃借権 | 賃借権 | 賃借権 | 賃借権 |  |
| 上記所有或いは貸借に係る交渉状況 | 登記済契約済確約済交渉中 | 登記済契約済確約済交渉中 | 登記済契約済確約済交渉中 | 登記済契約済確約済交渉中 | 登記済契約済確約済交渉中 | 登記済契約済確約済交渉中 |  |
| 交渉の状況 |  |

様式例３（Ａ４）

贈　与　契　約　書　（記載例）

　○○○○（以下「甲」という。）と社会福祉法人○○会設立代表者○○○○（以下「乙」という。）は、次のとおり贈与契約を締結した。

第１条　甲は、社会福祉法人○○会の設立が認可されたときは、同法人の建設自己資金として、金○○○円、運転資金として、金○○○円、土地購入資金として、金○○○円、資産として、別記目録記載の財産を同法人に贈与することを約し、乙はこれを承諾した。

第２条　甲は、前条による贈与を同法人設立後１週間以内に行わなければならない。

第３条　社会福祉法人○○会の設立の認可が得られないときは、この契約は無効とし、これにより損害が発生した場合、甲は、損害の賠償を請求することができない。

第４条　この契約に定めていない事項については、甲、乙、誠意を持って協議の上決定するものとする。

　上記契約を証するため、同文２通を作成し、甲、乙署名捺印のうえ各１通を所持する。

　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲　住所

 氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人○○会設立代表者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　注１　契約書原本の写しを添付すること。

　注２　第１条の資金、資産については、建設自己資金、運転資金、土地等の贈与の別により、必要な部分について記載すること。

　注３　甲が設立代表者の場合は、乙を代理人とすること。

|  |
| --- |
|  |

別記目録（Ａ４）

目　録　（記載例）

１　現金

 金　　　円

　　　　（内訳）

　　　　　建設自己資金　　　　　円

　　　　　運転資金　　　　　　　円

２　土地（注２）

 ○○（市郡）○○町○○丁目○○番所在の土地１筆　　　　　　　　　　　　㎡

３　建物（注３）

 ○○（市郡）○○町○○丁目○○番所在の建物１棟　　　　　 延べ　　　㎡

 注１　贈与の内容により、必要のない項目は削除するなど、適宜変更して作成する。契約書中に、末尾記載の財産として、契約書の末尾に記載し、目録を省略しても差し支えない。

 注２　土地は、１筆毎に不動産登記事項証明書記載のとおり記入する。

　注３　既存の建物の贈与を受けるときに記入する。記入は不動産登記事項証明書のとおりと

し、建設中の建物については記入しない。

様式例４（Ａ４）

土　地　賃　貸　借　契　約　書　（記載例）

　土地所有者○○（以下「甲」という。）と社会福祉法人○○会設立代表者○○（以下「乙」という。）は、土地の賃貸借に関し、次のとおり契約を締結する。

（目的）

第１条　甲は、その所有にかかる末尾記載の土地を乙が設置経営する○○○の敷地にあてるため賃貸する。

（契約期間）

第２条　前条の賃貸の契約期間は、社会福祉法人○○会の設立の認可の日から前条の目的によって使用する期間とする。(又は○○年○○月○○日から○○年○○月○○日とする。)

（地代）

第３条　賃借料は無償（又は年○○円）とする。

（転貸の禁止）

第４条　乙は、この契約にかかる土地を他に転貸してはならない。

（契約の解除）

第５条　乙が正当な事由がなくこの契約の各条項に違背したときは、甲はこの契約を解除することができる。

２　乙はその都合により、いつでもこの契約の解除を甲に申し入れることができる。

（返還）

第６条　乙は、この契約による土地を返還する場合、原形に復した後、返還しなければならない。ただし、甲の承認を得た場合はこの限りでない。

（その他）

第７条　以上に定めるもののほか、疑義の生じた場合は、甲乙協議のうえ決定する。

　この契約が甲乙両者間に成立したことを証し、かつこれを確守するため２通を作成し、各１通を保持する。

　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　甲　住所

 氏名

　　　　　　　　　　　　　　　乙　住所

 社会福祉法人○○会設立代表者

　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　　　　　　　土地の表示

 １　所在地

　　　　　　　　　　２　地目

　　　　　　　　　　３　公簿面積　　　　　　㎡

様式例５（Ａ４）

賃借権登記誓約書（記載例）

○○氏との土地の賃貸借については、法人設立後直ちに賃借権の登記を設定することを誓約いたします。

　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

 氏名（貸地人）

　 石川県知事　殿

様式例６（Ａ４）

○年度　○○○事業計画書

１　施設の名称、種類及び所在地

２　施設の地理的状況

３　建物の規模及び構造並びに設備の状況

４　事業運営基本計画（又は施設の運営方針）

５　利用定員（又は入所定員）

６　職員定数、職務内容

７　利用者の処遇

 （例）　(1)施設サービス計画の作成

 (2)介護内容　　　　　　　等

８　健康管理

９　非常災害対策、防災計画

10　苦情処理体制

11　事故発生時の対応

12　協力病院等

13　資金計画

14　事業開始年月日

15　日課

16　職員名簿

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 職名（注１） | 氏名（注２） | 前　　歴 | 資　　格 | 年齢 | 本　　籍 |
| 施設長 |  |  |  |  |  |
| 事務長 |  |  |  |  |  |
| 事務員 |  |  |  |  |  |
| 生活相談員 |  |  |  |  |  |
| 生活相談員 |  |  |  |  |  |
| 介護支援専門員 |  |  |  |  |  |
| 機能訓練指導員 |  |  |  |  |  |
| 介護職員 |  |  |  |  |  |
|  ～ |  |  |  |  |  |
|  ～ |  |  |  |  |  |
| 寮母 |  |  |  |  |  |
| 医師 |  |  |  |  |  |
| 看護師 |  |  |  |  |  |
| 看護師 |  |  |  |  |  |
| 栄養士 |  |  |  |  |  |
| 調理員 |  |  |  |  |  |
| 調理員 |  |  |  |  |  |
| 介助員 |  |  |  |  |  |

　注１　必要職種全てについて記入する。

　注２　選考中で未定の場合は、その旨記入する。

　注３　記載内容に応じて適宜ページ数を増やして作成する。

様式例７（Ａ４）

　（設立代表者が設立に関する一切の権限を有する場合の委任状の記載例。設立代表者が贈与契約の当事者となる場合は、この様式例ではなく、様式例８、９を参照すること。）

委　　任　　状　　（記載例）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所（注１）

 氏　名（注２）

　上記の者を社会福祉法人○○会の設立代表者として設立に関し必要な一切の権限を委任する。

　　　　年　　月　　日（注３）

　設立者（注４）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者（注５）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　注１　設立代表者の住所

　注２　設立代表者の氏名

 注３　贈与契約日以前の日付である必要がある。省略しないこと。

　注４　設立代表者以外の設立者（理事）

　注５　連記式でなく、設立者別の個別の委任状でも差し支えない。

様式例８（Ａ４）

　（設立代表者が贈与契約の当事者（寄付者）となる場合の委任状の記載例。この様式例による場合は、同時に様式例９も必要となる。）

委　　任　　状　　（記載例）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所（注１）

 氏　名（注２）

　上記の者を社会福祉法人○○会の設立代表者として設立に関し必要な権限（○○○○＜設立代表者氏名＞の贈与契約（注３）に係る部分を除く。）の一切を委任する。

　　　　年　　月　　日（注４）

　設立者（注５）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者（注６）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　注１　設立代表者の住所

　注２　設立代表者の氏名

　注３　贈与契約以外にも地上権設定契約等の案件がある場合は、適当な文書に書き換える。

 注４　贈与契約日以前の日付である必要がある。省略しないこと。

　注５　設立代表者以外の設立者（理事）

　注６　連記式でなく、設立者別の個別の委任状でも差し支えない。

様式例９（Ａ４）

　（設立代表者以外の者に設立代表者との贈与契約に係る権限のみを委任する場合の委任状の記載例。様式例８に関連して作成する。）

委　　任　　状　　（記載例）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所（注１）

 氏　名（注２）

　上記の者に社会福祉法人○○会と○○○○＜設立代表者氏名＞との贈与契約（注３）に係る権限を委任する。

　　　　年　　月　　日（注４）

　設立者（注５）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者（注６）　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　設立者　　　　　住所　　　　　　　　　　　　氏名

　注１　設立代表者の代理人の住所

　注２　設立代表者の代理人の氏名

　注３　贈与契約以外にも地上権設定契約等の案件がある場合は、適当な文書に書き換える。

 注４　贈与契約日以前の日付である必要がある。省略しないこと。

　注５　設立代表者の代理人を除く設立者（理事）全員。したがって、設立代表者も含まれる。

　注６　連記式でなく、設立者別の個別の委任状でも差し支えない。

様式例10（Ａ４）

理事（注１）就任承諾書　（記載例）

　社会福祉法人○○会理事（注１）に就任することを承諾します。

　　　　　年　　月　　日（注２）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 氏　名

　　社会福祉法人○○会

　　　設立代表者　○○○○　殿

　注１　監事就任承諾書、評議員就任承諾書または評議員選任・解任委員就任承諾書は、理事の文言を監事、評議員または評議員選任・解任委員に変えて作成すること。

　注２　設立代表者に権限を委任した日付以降で、法人設立認可申請年月日以前の日付。

　注３　設立代表者を含め役員全員分を作成すること。

様式例10-2（Ａ４）

欠格事項、親族等特殊関係者及び暴力団員等に該当しないことの誓約書（記載例）

　社会福祉法人○○会評議員（注１）に就任するにあたり、次の各号を誓約します。

　１　社会福祉法第40条第1項各号の欠格事項に該当しないこと(注２:評議員)

１　社会福祉法第44条第1項により準用される同法第40条第1項各号の欠格事由に該当しないこと（注２:役員）

２　各評議員又は各役員と親族等特殊関係にある者が含まれないこと（注３:評議員）

　２　各理事と親族等特殊関係にある者が上限を超えて含まれないこと（注３:理事）

　２　各役員と親族等特殊関係にある者が含まれないこと（注３:監事）

　３　暴力団員等の反社会的勢力者に該当しないこと

　　　　　年　　月　　日（注４）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 氏　名

　　社会福祉法人○○会

　　　設立代表者　○○○○　殿

　注１　評議員、理事、監事に変えて作成すること。

　注２　評議員の場合は、（注２:評議員）の文言を、理事、監事の場合は（注２:役員）の文言を使用する。

　注３　評議員の場合は、（注３:評議員）の文言を、理事の場合は（注３:理事）の文言を、監事の場合は（注３:監事）の文言を使用する。

注４　設立代表者に権限を委任した日付以降で、法人設立認可申請年月日以前の日付。

　注５　設立代表者を含め役員全員分、評議員全員分を作成すること。

様式例11（Ａ４）

建　設　計　画　書　（記載例）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人○○会

１　施設名（ふりがな）

２　経営主体

３　設置場所

４　定員

５　敷地の面積

６　規模及び構造

　　　　　　　　　　　造　　階建て

　　　１階床面積　　　　　　㎡

　　　２階床面積　　　　　　㎡

　　　３階床面積　　　　　　㎡

　　　　　計　　　　　　　　㎡

７　位置図、案内図、配置図及び平面図　　別紙のとおり。

８　施設設備資金計画

　(1) 収入

　　　　県（国を含む）補助金（注１）　　　　　　　　　円

　　　　○○市（町・村）補助金　　　　　　　　　　　　円

　　　　独立行政法人福祉医療機構借入金　　　　　　　　円

　　　　自己資金（寄付金）　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　(2) 支出

　　　　建設主体工事　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　冷暖房設備工事費　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　浄化槽設備工事費　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　昇降機設備工事費　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備工事費 円

　　　　敷地造成工事費　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　設計監理費　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　設備備品整備費　　　　　　　　　　　　　　　　円

 計　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

９　工事予定期間

　(1) 着工年月日　　　　年　　月　　日

　(2) 竣工年月日　　　　年　　月　　日

10　施設事業開始予定年月日

　　　　　年　　月　　日

 注１　間接補助金の場合は、県補助金とすること。

　注２　内容により適宜変更を加えて作成すること。

　注３　収支の内、不要な項目は削除し、不足の項目は加えること。

　注４　収入、支出とも、施設・設備に関するもの及び土地購入資金だけを計上し、運転資金は除外すること。

様式例12（Ａ４）

基　本　財　産　編　入　誓　約　書　　（記載例）

　このたび、社会福祉法人○○会が設置経営する○○○園の建物については、完成後速やかに基本財産に編入することを誓約いたします。

　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人○○会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　設立代表者　○○○○

　　石川県知事　殿

　注１　設立代表者あてではなく、知事あてとなるので注意。

|  |
| --- |
|  |

様式例13（Ａ４）

施　設　長　就　任　承　諾　書　（記載例）

　社会福祉法人○○会が設置経営する○○○園（注１）の施設長に就任することを承諾します。

　なお、施設長に就任するに当たっては、その職務に専念することを誓います。

　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 氏　名

　　社会福祉法人○○会

　　　設立代表者　○○○○　殿

　注１　保育所（認定こども園）の場合は、保育所（認定こども園）○○園というように記入する。

　注２　本承諾書には、施設長資格要件取得状況がわかる関係書類（写）を添付すること。

様式第３

石川県知事　　　　　　殿

|  |
| --- |
| 基本財産処分承認申請書 |
| 申　　請　　者 | 主たる事務所の所在地 |  |
| ふ　　り　　が　　な名　　　　　　　称 |  |
| 理事長の氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 申　請　年　月　日 | 　　年　　月　　日 |
| 基本財産処分の内容 |  |
| 基本財産を処分する理由 |  |
| 処　分　物　件 |  |

注１　用紙の大きさは日本産業規格Ａ列４番とすること。

注２　基本財産処分の内容欄には、処分の種類（売却、賃貸等）、処分の相手方（買主、借主等）、処分の対価（売買価格、賃貸料等）等を記載すること。

注３　処分物件の欄には、処分する基本財産を具体的に記載すること。例えば、建物については、各棟ごとに所在地、種類、構造及び床面積並びに申請時における具体的な用途を、土地については、各筆ごとに所在地、地目及び地積並びに申請時における具体的な用途を記載すること。

注４　この申請書の提出部数は、正本１通、副本１通とすること。

様式第４

石川県知事　　　　　　殿

|  |
| --- |
| 基本財産担保提供承認申請書 |
| 申　　請　　者 | 主たる事務所の所在地 |  |
| ふ　　り　　が　　な名　　　　　　称 |  |
| 理事長の氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 申請年月日 | 　　年　　月　　日 |
| 資金借入れの理由 |  |
| 借入金で行う事業の概要 |  |
| 資金計画 |  |
| 担保提供に係る借入金 | 借 入 先 |  |
| 借入金額 |  |
| 借入期間 |  |
| 借入利息 |  |
| 償還方法 |  |
| 償還計画 |  |
| 担保物件 |  |

注１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

注２　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

注３　償還計画の欄には、償還についての年次計画を記載するとともに、その償還財源を明記すること。

注４　担保物件の欄には、担保に供する基本財産を具体的に記載すること。例えば、建物については、各棟ごとに所在地、種類、構造及び床面積並びにその具体的な用途を、土地については、各筆ごとに所在地、地目及び地積並びにその具体的な用途を記載すること。なお、既に担保に供している物件をさらに担保に供するときは、その旨を附記すること。

注５　この申請書の提出部数は、正本１通、副本１通とすること。

注６　資金借入れ以外の理由で、基本財産を担保に供する場合には、この様式によらないで、適宜申請書（左横書きとし、用紙は日本産業規格Ａ列４番とする。）を作成すること。

様式第５

社会福祉法人役員等変更届

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

石川県知事　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職・氏名

　　　社会福祉法人の（理事長・理事・監事・施設長）を下記のとおり変更

しましたので、関係書類を添付のうえ、届出します。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設種類 |  | 施設名 |  |
| 変更年月日 | 　　　　　　　年　　月　　日 |
| 変更の理由 |  |
| 区分 | 変更前 | 変更後 |
| 氏名 |  |  |
| 生年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 住所 |  |  |
| 親族等の特殊関係人の有無及び続柄 |  |  |
| 役員の資格等 |  |  |
| その他の特記事項 |  |  |

注１　評議員の変更に伴う変更届は不要。

注２　他の社会福祉法人の理事長に就任している場合は、その他の特記事項の欄に

その法人名を記載すること。

様式第６

|  |
| --- |
| 社会福祉法人定款変更（認可申請・届出）書 |
| 申請者 | 主たる事務所の 所 在 地 |  |
| 　ふ　り　が　な名　　　　称 |  |
| 理事長の氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 申 請 年 月 日 |  |
| 定款変更の内容及び理由 | 内　　　　　　　　　　　　　　　容 | 理　　　由 |
| 変　更　前　の　条　文 | 変　更　後　の　条　文 |
|  |  |  |

（注意）

　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　２　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

　また、変更前の条文と変更後の条文を対比表とすることが困難な場合には、対比表の形式によらないことも差し支えないこと

　３　この申請書・届出書には、社会福祉法施行規則第３条第１項各号に掲げる書類を添付するとともに、当該定款変更の内容に応じ、同条第２項又は第３項に規定する書類を添付すること。

附則　この手引きは、平成１５年４月１日より適用する。

附則　この手引きは、平成２４年４月１日より適用する。ただし、法人認可申請提出書類等に関する注意事項第1　法人認可申請提出書類４　設立当初の財産目録(1)財産目録、の規定の適用については、平成２５年３月３１日までの間は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成１７年法律第１２３号）」とあるのは「障害者自立支援法（平成１７年法律第１２３号）」とする。

附則　この手引きは、平成２９年４月１日より適用する。

附則　この手引きは、令和３年３月３１日より適用する。

附則　この手引きは、令和５年３月３１日より適用する。